

令和7年度第5回仙台市青葉区区民協働まちづくり事業評価委員会 議事要旨

日 時：令和8年3月11日（水）

13時00分～17時00分

場 所：青葉区役所7階第1・2会議室

出 席：丹治委員長、小川副委員長、荒井委員、

田口委員、有坂委員、千葉委員

※過半数の出席により委員会成立

1 開会

2 挨拶 仙台市青葉区区民協働まちづくり事業評価委員会委員長 丹治 重廣

3 議事

(1) 議事録署名人選定 千葉委員が議事録署名人として選定された。

(2) 令和8年度まちづくり活動助成申込事業の評価及び選考

① 一般社団法人～東北を明るくする～仙台ストリートピアノ協会

(ア) 協議結果：助成事業として採択する。

(イ) 評価委員からの主な意見

- ・今後の自立的な活動に向け、団体の増収につながる取り組みについて検討頂きたい。
- ・「楽都」を目指す仙台にとって、大事にしたい要素となるものと思う。
- ・今後も様々な場面で”音楽を通して人と人をつなぐ”という、自然な交流による本事業の効果は高いと思う。

(ウ) 助成額について

- ・助成額を250,000円とすることが妥当である。

② かけこみ未来塾

(ア) 協議結果：助成事業として採択する。

(イ) 評価委員からの主な意見

- ・シンポジウムなど全体の経費について、コストを抑える工夫等について検討頂きたい。
- ・このような場は必要なものとする。居場所の機能がボランティアの手で作られている点は素晴らしい。
- ・参加人数を増やして地域のサポートを広げていくことに期待する。

(ウ) 助成額について

- ・助成額を200,000円とすることが妥当である。

③ 特定非営利活動法人 水・環境ネット東北

(ア) 協議結果：助成事業として採択する。

(イ) 評価委員からの主な意見

- ・ガイドボランティアの育成が着実に進んでいるように思う。育成されたメンバーが実際にガイドとして活動できるよう期待したい。
- ・受益者負担という視点で、健全な運営が行われているのではないかと思う。
- ・年間を通して参加者のニーズも拾いながら、フィールドワークを含め、企画、広報が行われていると感じる。

(ウ) 助成額について

- ・助成額を 100,000 円とすることが妥当である。

④ オレンジクラブ広瀬の杜

(ア) 協議結果：助成事業として採択する。

(イ) 評価委員からの主な意見

- ・市内の孤立、孤独死の解決に寄与する取り組みと感じる。
- ・孤立・孤独対策というテーマの規模が大きく、団体だけでの解決は難しい部分もあるかとは感じる。
- ・各種支援機関や町内会等との連携が必要と感じる。

(ウ) 助成額について

- ・助成額を 150,000 円とすることが妥当である。

⑤ 台原地区の防災を考える会

(ア) 協議結果：助成事業として採択しない。

(イ) 評価委員からの主な意見

- ・地域団体との協力により、継続的に活動できる段階に達していると思う。
- ・今後は引き続き他団体と連携し、自立した活動の継続に期待する。
- ・学校や地域に関する周知活動はぜひ続けて欲しいと感じる。

⑥ GARDEN of RIVER, SENDAI project

(ア) 協議結果：助成事業として採択する。

(イ) 評価委員からの主な意見

- ・短期間でとても多くの交流、企業への周知等実績を積み重ねられたと思う。
- ・参加費や自己資金計画がしっかりしていると感じる。

(ウ) 助成額について

- ・助成額を 250,000 円とすることが妥当である。

⑦ 「お宮町」まちづくり協議会

(ア) 協議結果：助成事業として採択する。

(イ) 評価委員からの主な意見

- ・自立して事業を継続できるよう、全体の経費について精査・工夫していく必要がある。
- ・しっかりガイドできる人を養成されることを期待する。
- ・地域資源を地域の方が掘り起こしてまとめてきたことは大切かと思う。

(ウ) 助成額について

- ・助成額を 250,000 円とすることが妥当である。

⑧ 杜の都のクラフトフェア実行委員会

(ア) 協議結果：助成事業として採択する。

(イ) 評価委員からの主な意見

- ・クラフトイベントだけではなく、まち散歩や冊子の発行等、事業の広がりを感じる。
- ・イベントを実施することにより、地域の商店にも回遊効果をもたらしていると感じる。
- ・資金確保やコスト削減についてもう少し検討頂きたい。

(ウ) 助成額について

- ・助成額を 400,000 円とすることが妥当である。

⑨ 錦ヶ丘ママのにこにこマルシェ実行委員会

(ア) 協議結果：助成事業として採択する。

(イ) 評価委員からの主な意見

- ・年 4 回の定期開催により、地域の賑わいにつながっていると感じる。
- ・企業協賛等、安定した資金確保を目指し、さらに工夫をしていくことが必須かと思う。
- ・助成金を活用してイベントの視認性を高めることができていると感じる。

(ウ) 助成額について

- ・助成額を 300,000 円とすることが妥当である。

⑩ 特定非営利活動法人グッドニュース・プロジェクト

(ア) 協議結果：助成事業として採択する。

(イ) 評価委員からの主な意見

- ・もう少し広く広報を行い、取組みについて知って頂けると良いと思う。
- ・今後の資金繰りには工夫が必要かと思う。
- ・行政等が介入しづらい中で、スタッフに専門性が求められる状況かと思う

(ウ) 助成額について

- ・助成額を 100,000 円とすることが妥当である。

⑪ みんなの居場所 片平寺子屋

(ア) 協議結果：助成事業として採択する。

(イ) 評価委員からの主な意見

- ・資金繰りを具体的に考えていくことが今後につながると思う。
- ・地域住民が集まる場に子どもたちも来れるような工夫をすることで、多世代交流が期待できると考える。
- ・事業の実施にあたっては、地域の人材を活用することなどにより経費を抑える等、検討が必要。

(ウ) 助成額について

- ・助成額を 105,000 円とすることが妥当である。

⑫ 通町鹿島会

(ア) 協議結果：助成事業として採択しない。

(イ) 評価委員からの主な意見

- ・町内会の予算内での開催の方が、継続的な開催が可能ではないかと思う。
- ・計画が町内会活動の範囲内に見受けられ、助成事業の対象ではないと思う。

⑬ 特定非営利活動法人にここサポート

(ア) 協議結果：助成事業として採択しない。

(イ) 評価委員からの主な意見

- ・各種公的機関による支援策の活用により、実現可能ではないかと感じる。
- ・課題意識は高いと感じるが、アンケートの内容や調査活動における守秘義務等の検討が必要な段階と思う。

⑭ もうひとつの定禅寺通まちづくり推進協議会

(ア) 協議結果：助成事業として採択しない。

(イ) 評価委員からの主な意見

- ・企画自体はまちの賑わい創出への寄与も考えられるが、地域との連携体制や収支予算など明確でない部分が多いと感じる。
- ・一部の商店にしかメリットがないのではないかと思う。

⑮ はみんぐ こどもと大人の居場所

(ア) 協議結果：助成事業として採択する。

(イ) 評価委員からの主な意見

- ・基本の考え方はしっかり組み立てられているが、目的があいまいで効果の設定が見えにくいと感じる。
- ・今後の活動経験を積むことが望まれる。
- ・助成事業を進めるにあたっては、保育支援分野に詳しい評価委員等からのアドバイスも受けながら取り組んでいくことが必要。

(ウ) 助成額について

- ・助成額を 50,000 円とすることが妥当である。

⑯ 四ツ谷の水を街並みに！市民の会

(ア) 協議結果：助成事業として採択しない。

(イ) 評価委員からの主な意見

- ・資金面で順調に確保されているように見受けられる。引き続き団体の自主財源による活動を期待する。
- ・記念品など、支出を見直すことで節約できるのではないかと感じる。

⑰ 東北文化学園大学

(ア) 協議結果：助成事業として採択する。

(イ) 評価委員からの主な意見

- ・ワークショップを通して、場の活用方法を探っていくことにより、地域への還元が期待できる。
- ・講師が大学の関係者ということも踏まえ、大学の予算内で賄える部分がないかも検討頂きたい。
- ・地域おこしに期待できる。

(ウ) 助成額について

- ・助成額を 250,000 円とすることが妥当である。

⑱ 白沢カルデラプロジェクト実行委員会

(ア) 協議結果：助成事業として採択しない。

(イ) 評価委員からの主な意見

- ・過去に 3 年間助成を行った事業と、同じ事業と思う。
- ・自主的な資金確保の方法を工夫していくことが肝要と思う。
- ・新規とは認められないと思う。

⑲ みやぎ子どもの文化研究所

(ア) 協議結果：助成事業として採択する。

(イ) 評価委員からの主な意見

- ・人を育てるという観点から大事な事業であると思う。
- ・こどもの文化環境を作るという想いは共感できる。

(ウ) 助成額について

- ・助成額を 95,000 円とすることが妥当である。

(3) その他

4 閉会